

## 1 事業活動の概要

### (1) 観光関係

#### ・ホームページのアップデート、SNSへの投稿

当事務所のホームページにある4道県についての情報を随時更新しているほか、フェイスブック、インスタグラム、ユーチューブの投稿を行いました。(李次長対応)

#### ・関係機関との情報交換

日本政府観光局(JNTO)ソウルや韓国内の旅行エージェントを訪問し、国際観光再開に向けた企業のインセンティブツアー等の動きについて、情報収集や意見交換を行いました。

航空会社の当事務所への訪問を受け、今後の国際観光再開についての動きについての情報交換や4道県の魅力発信などについて、意見交換を行いました。

#### ・旅行会社等からの問い合わせ対応

旅行会社からの写真の提供依頼やインセンティブツアーの行程に関する相談など問い合わせ対応が増えています。(張次長対応)また、個人の方からパンフレットの提供依頼も増えてきており、国際観光再開の機運が高まってきているのを感じます。

### (2) 物産関係

韓国では新型コロナウイルス感染症の感染防止策「社会的距離の確保」が4月18日に全面解除となり、飲食店の営業時間や私的な集まりの人数等の制限がなくなり、夜の飲食店街はこの1~2年間で見られなかったほどのにぎわいを見せています。また、2年間ほど中断していたソウルの地下鉄の深夜運行も6月初旬から徐々に再開する見込みとなっており、飲食の需要はますます増加しそうな状況です。

#### ・バイヤー招聘事業のフォローアップ

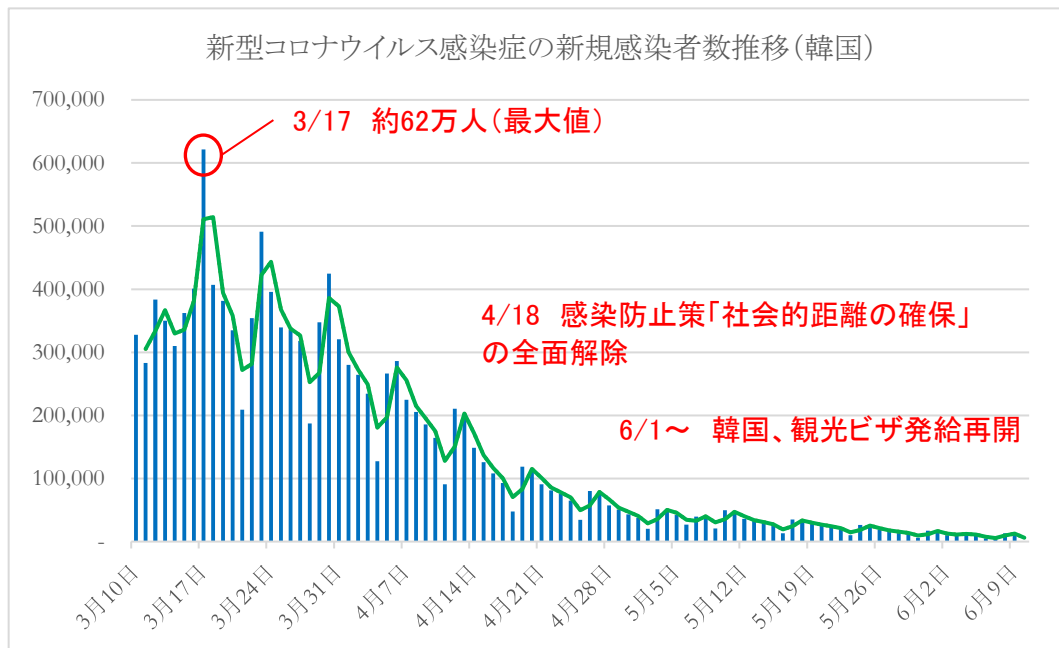
主に輸入実績のある企業からの情報を収集し、該当の道県担当者へ情報提供しています。そばの商品が新規で輸入開始となったほか、これまで業務用だけで輸入されていた商品の一般客用商品の輸入が開始された商品もあります。(金次長対応)

#### ・ソウルフード2022視察

京畿道高陽市にあるキンテックスで6月7日から4日間の期間で開催されている「ソウルフード2022」を視察しました。昨年度まであった入場時の検温、手指消毒等の入場手続きはなくなっていました。昨年度までとは異なり、入場者数が非常に多く、盛況であるという印象でした。北海道の麺製品や青森県の調味料製品なども見られました。ある輸入企業にヒアリングしたところ、その企業では不買運動以前と比べて倍以上に販売量が増えており、恒常的に在庫不足に陥っているほどとのことでした。コロナ後の消費拡大の機運が高まっているのを感じます。(金次長対応)

## 2 新型コロナウイルス感染症について

### (1) 感染状況



出典: JHU CSSE COVID-19 Data 及び韓国政府発表のデータを基にソウル事務所で作成

韓国の新型コロナウイルス感染症の新規感染者数は感染防止策「社会的距離の確保」が全面解除となった後も下落傾向が続き、直近1週間の平均で1万人を下回るようになっています。

### (2) コロナ対策

韓国政府の新型コロナウイルス感染症対策は日常回復に向けた施策が続いています。

- ・4月18日 韓国政府、感染防止策「社会的距離の確保」全面解除
- ・4月25日 韓国政府、新型コロナウイルス感染症の扱いを最も強力な隔離義務がある第1級感染症から第2級感染症に引き下げ。ただし、4週間は移行期とし、感染者の7日間の隔離義務は維持。
- ・5月2日 屋外でのマスク着用の義務解除。
- ・5月20日 韓国政府発表、新型コロナウイルス感染症に韓国国内で感染した場合の感染者の7日間自宅隔離義務を4週間延長(6/20までは要隔離。)その後隔離義務を見直す方針。

### (3) 水際対策

韓国政府の新型コロナウイルス感染症の感染状況が落ち着いてきている状況を受けて、水際対策の緩和措置も続いています。

- ・5月23日～ 韓国への入国者は韓国入国前48時間以内に実施したPCR検査の陰性証明書に加え、韓国入国前24時間以内に実施したRAT検査の陰性証明書も、韓国入国のために有効な検査証明書として認められるようになる。
- ・6月1日～ 入国後初日に実施するPCR検査の時期を入国後1～3日以内にPCR検査を受けることに変更される。(これにより韓国滞在期間が6日間以内のばあい、入国後の検査と出国前の検査を兼ねることが可能。)
- 6月8日～ ワクチン未接種者の韓国入国時に適用している7日間の入国後の自主隔離義務を解除。(ワクチン接種者は4月1日からすでに入国後の自主隔離が不要となっている。)